

「語り座」本公演

花桔梗御殿絵巻

～ **新**・清正をめぐる5人の女～



平成22年7月19日(月) 午後3時半開演
崇城大学市民ホール

助 成 公益信託くまもと21ファンド
熊本市舞台芸術事業
熊日文化スポーツ基金
熊本放送文化振興財団

主 催

肥後の歴史物語と民話の会 『語り座』

後 援

熊本県、熊本市教育委員会、熊本日日新聞、NHK熊本放送局、RKK、KAB、KKT、TKU、FMK、FM791、加藤清正公生誕450年没後400年記念事業実行委員会

加藤清正公



肥後の歴史物語と民話の会「語り座」

代表
す さき あ い
寿 咲 亜 似

代表挨拶

本日は、「語り座」初めての本公演において戴きましてありがとうございます。振り返れば東京でアナウンスを学んだものの、CM読みや司会だけでは飽き足らず近所の子供たちを集めての読み聞かせや語り聞かせ会、やがて小学校等へ足を運ぶようになりそしてFM791 ラジオ放送「おはなしの森」が始まりました。大人に向けてホールでコンサートを開くようになったのは、1999年からのことです。各所で民話や童話を語り続けるうちにその魅力に惹かれ、次第に故郷熊本の話に興味を持つようになりました。RKK ラジオで歴史ばなし「清正公さんの国づくり」も自作自演中です。

熊本に縁ある方には是非知っておいてもらいたい話を物語にして、分かりやすく伝えたい思いで昨年「語り座」を設立しました。大江捷也氏に名付けて戴きました。設立から今日まで、大勢の方々のお力添えを戴き本公演に辿り着けたことは、いくら感謝してもし尽くせません。今回、熊本21ファンドをはじめ、各方面から温かい応援を戴きましたし熊本市人づくり基金の助成を受けて壤晴彦氏に朗読、神田紅氏に講談を学んだ事も公演に向けて背中を押してくれました。

一朝一夕に上達するものではありませんが、これからも学びつつ、各地で公演して歴史や民話をわかりやすく、楽しく、伝えて行きたいと思えます。清正公の奥方はどんな人？という単純な疑問を持った四年前から始まった知りたがり病は、これからも治りそうにありませんが、清正公にとって特別な年にこの作品を上演できる幸せをかみ締めながら、精一杯努めますのでどうぞ最後までごゆっくりお付き合い下さいますようお願い致します。

祝 辞

祝 辞



熊本県知事 蒲島 郁夫

「花桔梗御殿絵巻 新・清正をめぐる五人の女」の公演を心からお慶び申し上げます。

肥後の歴史物語と民話の会「語り座」におかれましては、熊本の各地に伝わる歴史物語や民話を、子どもたちをはじめ多くの人たちに熊本弁で、楽しくわかりやすく語りつぐため、県内各地での公演を行って普及活動に取り組んでおられることに深く敬意を表します。

今回の公演では、熊本県民に広く慕われている加藤清正にまつわる女性たちを題材として、独自の歴史研究を通じて明らかとなった新たな史実に、脚色を加えられた物語を上演されると伺い、大変興味深く、期待しております。

県では、くまもとの優れた歴史や文化が再認識され、誇りに満ちた魅力ある「品格あるくまもと」の実現に向けて、文化を担う人材の育成や文化の継承に取り組んでいるところです。

皆様方におかれましては、今後とも熊本の歴史と民話の語りを通して、本県文化の継承にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

最後に、本日の公演のご盛会と肥後の歴史物語と民話の会「語り座」の皆様の益々のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



熊本市長 幸山 政史

「語り座」本公演、「花桔梗御殿絵巻～新・清正をめぐる五人の女～」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

肥後の歴史物語と民話の会「語り座」におかれましては、代表である寿咲亜似さんを中心として昨年7月に結成されて以来、大切な文化遺産である地域の歴史や民話を、後世に語り継ぐ積極的な取り組みを県内各地で続けておられますことに、深く敬意を表する次第でございます。

本日の公演では、熊本市のシンボルである熊本城を築城された加藤清正公にちなんだ物語を披露されますが、寿咲亜似さんによる語りと、琴、横笛、チェロ、三味線、鼓の演奏との融合により大変興味深い内容となっております。

加えて、俳優で、演出家でもある壤晴彦さんが特別出演されるなど、多彩なプログラムにより、ご来場の皆様方も充実した舞台をお楽しみいただけることと存じます。

さて、本市におきましては、九州新幹線開業や、政令指定都市実現などの重要な時期を迎え、さらなる魅力の向上に努めているところでございます。「地域に息づく伝統や市民の力が生み出す新しい熊本文化の振興」を市政の重点的取り組みの一つに掲げ、今後とも熊本独自の文化の発信に一層力を入れてまいりたいと考えておりますので、本日ご来場の皆様方におかれましては、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本公演のご盛会と、肥後の歴史物語と民話の会「語り座」の益々のご発展並びにご来場の皆様のご健勝を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



ごあいさつ

肥後の歴史物語と民話の会「語り座」顧問
株式会社熊本日日新聞社 名誉会長
永野光哉

本日は、肥後の歴史物語と民話の会「語り座」本公演の開催おめでとうございます。

この「語り座」が設立されてはや一年となりますが、わたくしも設立から見守ってきた一人として、喜ばしく、また、これまでに行ってきた、南関町御茶屋跡や阿蘇のくらはら館での公演と、それぞれの地域の人たちへ、その地域の持つ歴史や文化をお伝えする事ができ、地元の方たちに大変喜んで頂き大盛況であった事をうれしく思っております。

本日の「語り座」本公演「新・清正をめぐる五人の女～花桔梗御殿絵巻～」では、私たちが知っている清正公の違った一面を垣間見る事が出来るものと、たいへん期待しております。

「語り座」で行う、このような公演は、熊本の人々が熊本の歴史や文化を、熊本の地域の人々に語り継いでいくということであり、新幹線開業や政令指定都市への発展など、新たな時代の幕開けとして熊本を愛する人たちが互いに熊本を誇りに思えるような心の繋がりを作る重要なものとして、熊本という地域の歴史を、より深く知り、それによって新しい魅力を再発見し、熊本を想う郷土愛が深まるものと確信しています。

今後、この「語り座」の役割が高まっていく時代である事は間違いないことであり、本公演の盛会と「語り座」のますますの発展並びに、ご来場いただいた皆様のご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉と致します。



ごあいさつ

熊本県文化協会会長 小堀 富夫

今年有加藤清正公の没後四百年の年です。この節目の年に、寿咲亜似さんが会長の、肥後の歴史物語と民話の会「語り座」が崇城大学市民ホールで「新・清正をめぐる五人の女～花桔梗御殿絵巻～」を公演されます。成功を心より祈念しています。

寿咲亜似さんは歴史物語や民話を楽しくそして判りやすく伝えようとの思いから「語り座」を設立。自分で歴史を掘りおこし脚本を書いて県下各地で積極的に公演活動をつづけておられます。

また、自分の話術の力を更に深めようと今も月一回東京に出かけ、今回公演のゲスト出演者の壤晴彦さんらの指導をうけています。

今回の「花桔梗御殿絵巻」は、加藤清正をめぐる正室（清浄院）・側室（正応院・本覚院・浄光院）・そして謎の女・山崎氏の話、箏・横笛・三味線・チェロ・鼓の生演奏をバックに寿咲さんが語ると聞いています。

脚本は宮崎真由美そして演出は小西たくまさんが楽しい舞台にしてくれるものと期待をしています。また一部には唄と三味線・肥後の民話そしてゲスト出演の壤さんの朗読「野ばら」が披露され、これまた楽しい舞台になると思います。

寿咲さんは昨年も阿蘇や南関で公演をおこなっておられますが、今年もこの市民ホールの公演のほかにも、阿蘇・清和・玉名などで公演を予定されています。一人でも多くの方がこれらの公演に参加され、寿咲さんの活動を応援して頂きますようお願いいたします。



【第一部】

肥後のあぎゃん話、こぎゃん唄

・ 「肥後の唄メドレー」

唄・三味線：福島竹峰／横笛：藤舎元生

・ 「ふるやのもり」

語り：向本孝子、小西裕子、橋本順子

・ 「一休さん」

語り：定岡憲子

・ 「腰折れすずめ」

語り：坂本由美子、山元和代

・ 「屁っこき嫁様」

語り：松尾スミ子、坂本茂子、岡本章子

・ 「おざや節秘話」 「おざや節」

語り：前川礼子／唄・三味線：福島竹峰

語り出演：まるぶん民話塾塾生、朗読塾塾生／指導：寿咲亜似

司会：山本ゆかり

衣装協力：創作着物“清”

・ ゲストコーナー「野ばら」小川未明・作／ゲスト：壤晴彦

チェロ：石垣博志／横笛：藤舎元生

休憩（15分間）

【第二部】

～新・清正をめぐる5人の女～『花桔梗御殿絵巻』

出演

《語り手・講談》寿咲亜似
《加藤清正》壤晴彦
《並川金右衛門・赤星太郎兵衛・玉目丹波守》築地豊治
《清浄院（かな）》橘路子
《正応院（ひおい）》福島有季子
《本覚院（あけひ）》山田夢子
《浄光院（みつ）》山本真由美
《山崎氏の亡霊》山田真由美
《黒子》服部和洋

演奏

《箏》藤川いずみ
《チェロ》石垣博志
《篠笛・能管》藤舎元生
《三味線・唄》福島竹峰
《鼓・大皮》中村花誠

ダンス

ビーブジーダンスカンパニー
肥後真狗舞

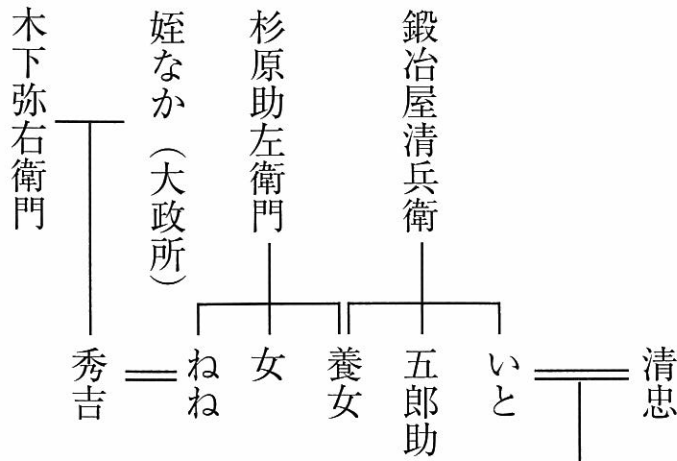
演出：小西たくま
舞台監督：山邊二郎
企画構成：寿咲亜似
脚本：宮崎真由美
講談部分編集・指導：神田紅（講談師）
音楽監修：藤川いずみ（「桔梗のテーマ」作曲）
美術：(有)吉本美術
照明：色川伸
音響：サウンド九州
映像製作：坂本龍彦
映像OP：静海義明
衣装：川内戦国村
鎧・兜協力：セルモ玉姫殿

参考図書

「加藤清正の研究」
福田正秀氏、水野勝之氏共同研究・著



加藤清正 家系図



正室・山崎氏 (山崎片家の娘)

虎熊 清正公朝鮮出兵中に戦死か?

継室・清浄院 (水野忠重娘で家康の養女)

八十 慶長六年誕生 家康十男・徳川頼宣と結婚 寛文六年没 六十六才

側室・本覚院 (川尻殿 菊池氏菊池武宗の娘)

虎之助 慶長元年誕生 二才で没

忠正 (熊之助) 慶長四年誕生 慶長十二年没 九才

清正

あま (のちに古屋) 慶長三年誕生 寛永十四年没 三十才

側室・浄光院 (竹の丸殿 菊池家 赤星太郎兵衛の娘)

忠広 慶長五年誕生 承応二年出羽庄内にて没五十四才

正応院 (阿蘇氏初代玉目丹波守娘)

清正 幼名・虎之助 永禄五年六月二十四日誕生 慶長十六年 (一六一一年) 六月二十四日没 満四十九才 熊本本妙寺浄池廟

聖林院 清正母いと 慶長五年 (一六〇〇年) 五月十八日没 六十七才 熊本横手妙永寺

正応院 阿蘇南郷玉目丹波の娘 慶安四年 (一六二六年) 四月九日 庄内丸岡にて没 七十三才 鶴岡本住寺

本覚院 菊池香右衛門武宗の娘 (川尻殿) 寛永三年 (一六一六年) 十月十三日没 四十六才 熊本横手本覚寺

清浄院 水野忠重の娘 明暦二年 (一六五六年) 没 七十五才 京都本園寺 供養塔川尻法宣寺

浄光院 大木土佐妻の姉 (竹の丸殿) 寛永二年 (一六二五年) 六月二十二日没 東京池上本門寺

出演者



壤 晴彦

俳優・演出家・声優。演劇倶楽部『座』主宰。NPO日本朗読文化協会顧問。狂言大蔵流・茂山千作に師事した後、劇団四季を経てフリー。海外公演多数。演劇倶楽部『座』で「詠み芝居」という独自の舞台表現を追求しながら、後進の指導にもあたっている。東京都在住。本日スペシャルゲストでお招きしています。



寿咲 亜似

肥後の歴史物語と民話の会「語り座」代表。歴史を掘り起こし、脚本も執筆している。RKKラジオにて自作の「聞き語り清正公さんの国づくり」(毎週日曜18:30～)出演中。ラジオFM791にて「おはなしの森」(毎週金曜15時～)制作出演中。まるぶん「民話塾」講師(第一、第三火曜、10:30～)2008年内閣官房長官賞を受賞。



横笛
藤舎 元生



箏
藤川いずみ



チェロ
石垣 博志



三味線
福島 竹峰



鼓・大皮
中村 花誠



風姿会会員
築地豊治



劇団「石」
山田 夢子



劇団「石」
山本真由美



劇団「石」OB
橘 路子



まるぶん民話塾
講座受講生
福島有季子



ビープジーダンス
カンパニー代表
山田真由美



菊池無形民俗文化財会員
服部 和洋



演出
小西たくま

《ビープジーダンスカンパニー》
吉村昭則、松原綾子、宮川愛

《肥後真狗舞》

平 慶子、横田遼太郎、堀川未樹、
工藤寛士、宮崎千聡、渡辺大祐、
興梠太希

語り座 清和文楽館公演

加藤清正公が愛した女性～正応院ひおい～

山間の玉目の里に生まれ育ち、清正公の側室に召され波乱の人生を生きた一人の美しい女の物語・・・本公演では語りきれなかった山形でのお話も寿咲亜似の語りと弦の響きでお届けします。



語り

寿咲 亜似

ラジオパーソナリティ
語り座代表



朗読

勝 敏彦

元NHKアナウンサー
NHKカルチャーセンター講師



琴演奏

藤川いずみ

東京邦楽創造集団オーラJ
新箏(21弦)奏者



尺八
津軽三味線演奏

村上 悟

主催 肥後の歴史物語と民話の会『語り座』
後援 清和文楽館
熊本県・山都町・山都町教育委員会(予定)

【とき】九月十八日(日) 午後二時～四時
【ところ】清和文楽館
【入場料】一般 千円 ・ 会員 八百円

民話「武じやどん」などの楽しいお話も
ありますよ。

肥後の歴史物語と民話の会
「語り座」代表 寿咲亜似
熊本市薄場3丁目10-27
TEL 096-358-4841

「花桔梗御殿絵巻」

～新、清正をめぐる五人の女～公演報告

平成22年7月19日（祝、海の日）

崇城大学市民ホールにて 午後3時30分開演

第一部 肥後の民話とゲストの讓晴彦氏による朗読

第二部 「花桔梗御殿絵巻」

☆入場料 一般1500円、会員1000円、指定席2000円

☆出演者 32名

☆スタッフ 40名

☆入場者 1200名

☆所要時間 3時間

☆決算書 別添

☆写真 別添

☆プログラム 別添

助成を戴いたお陰で 無事公演を終えることができました。

おいでくださった方々は 口々に「語りの面白さを改めて感じた」

「知らなかった歴史を解り易く伝えてもらって少しも退屈しなかった」「語りを聞いたことがなかったが、とても興味をもった」

「この素晴らしい舞台に、一般1500円は安すぎる」などの言葉をかけて下さいました。

緞帳が下りても鳴り止まない拍手は、一生の宝物です。

本当にありがとうございました。

収支決算書

収入

| 項目 | 金額 | 摘要 |
|--------|-----------|-------------------------------|
| 自己負担金 | 74,876 | 贈り座5万円 自己負担24876円 |
| チケット売上 | 940,500 | |
| 出演者参加費 | 55,000 | 受講生出演参加費 |
| 広告代 | 851,000 | |
| 協賛金 | 136,000 | 御花代 |
| 補助金 | | |
| 助成金 | 550,000 | 熊日文化スポーツ基金・熊本放送 熊本市舞台芸術助成金 |
| 21ファンド | 1,307,000 | 市民ホール公演分 |
| | | |
| | | |
| 合計 | 3,914,376 | |

支出

| | | |
|---------|-----------|-------------------|
| 謝礼・出演料 | 1,069,500 | 原稿料・監督料・出演料・着付け料 |
| 貸金 | 15,000 | 受付・場内整理 |
| 旅費・交通費 | 32,000 | 東京～熊本往復 |
| 宿泊料 | | |
| 借上料 | 656,140 | 市民ホール・稽古場・付帯設備 |
| 委託料 | 1,165,675 | 音響・照明・舞台装置・写真・ビデオ |
| 印刷代 | 369,625 | ポスター・チラシ・プログラム |
| 看板代 | 15,000 | 立看板 |
| 通信費 | 43,890 | 郵送・メール便 |
| 広告代 | 397,110 | テレビスポット・タウン誌・熊日新聞 |
| 飲食代・茶菓子 | 107,060 | 弁当・お茶・会時茶菓子 |
| 電話・FAX | 1,950 | FAX使用料 |
| 雑費 | 41,926 | 事務用品他 |
| | | |
| | | |
| 合計 | 3,914,376 | |



肥後の歴史博物館
座

肥後の歴史博物館
座

肥後の歴史博物館
座

肥後の歴史博物館
座







